



167 大正修理前南倉東面南端
「第一四号 宝庫南倉東側南角軒先及校木組手現況」。南面に足場が組まれている。修理前の東南隅棟の様子が見て取れる。東から見る。



168 大正修理時瓦解体中の北面軒先の状態
「第一五号 宝庫北側軒先廻りノ狂タル現況」。北面の軒は、中央がやや上がりその両端が下がるという状況にあったことがわかる。



169 大正修理時瓦解体中の東面北方の軒先の状態
「第一六号 宝庫東側軒先廻ノ狂タル現況（北方）」。これが北を見た状態だとすると、素屋根も寄棟造で作られたことがわかる。



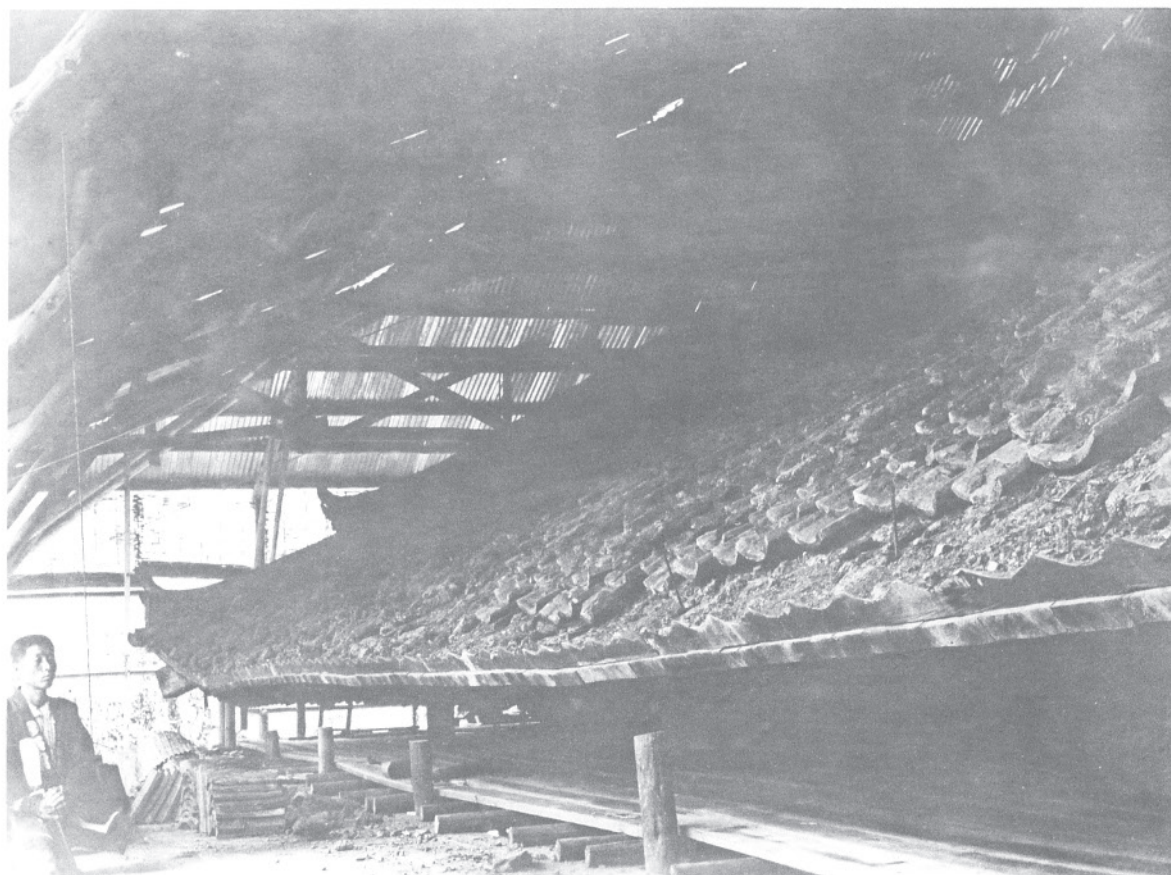
170 大正修理時瓦解体中の東面南方の軒先の状態
「第一七号 宝庫東側軒先廻ノ狂タル現況（南方）」。経年による軒先の乱れが見られる。



171 大正修理時瓦解体中の南面軒先の状態
「第一八号 宝庫南側軒先廻ノ狂タル現況」。東から見た南面の軒。北面と似たような破損状況が見られる。



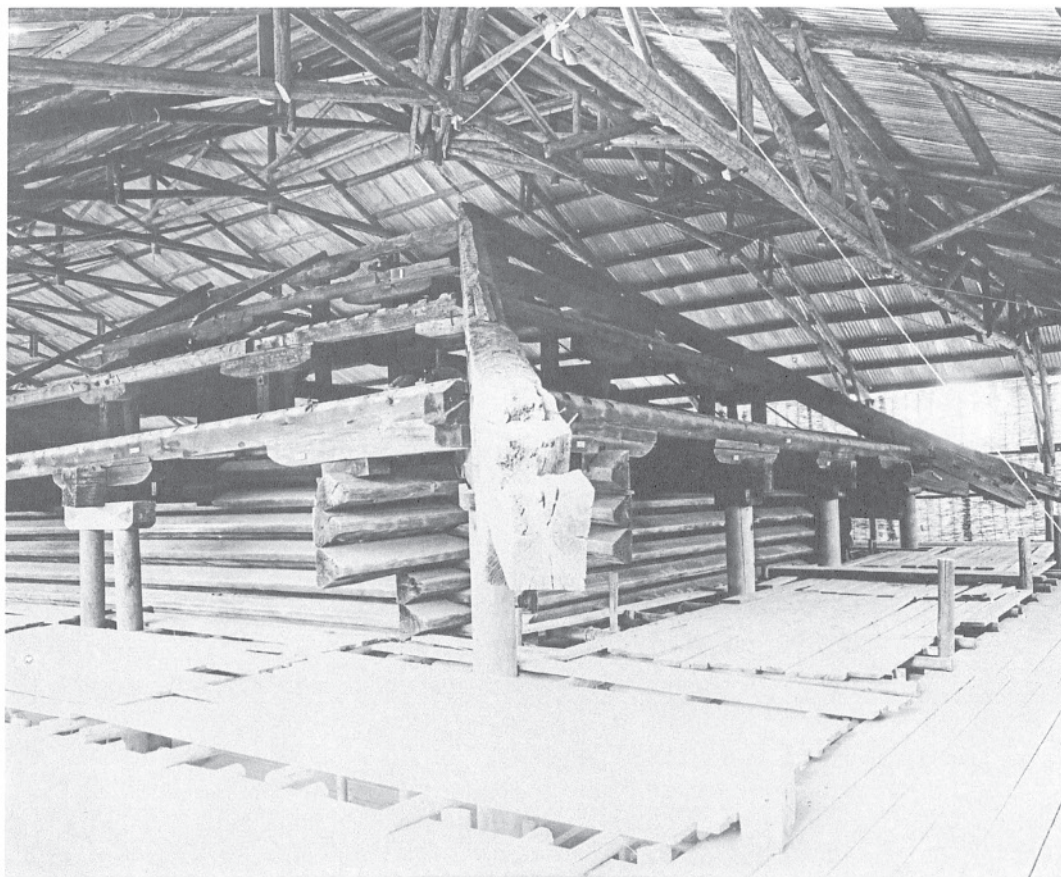
172 大正修理時瓦解体中の西面南方の軒先の状態
「第一九号 宝庫西側軒先廻ノ狂タル現況」。



173 大正修理時瓦解体中の西面北方の軒先の状態
「第二〇号 宝庫西側軒先廻ノ狂タル現況（北方）。西面は南方も北方も軒先に大きな乱れはなかったように見える。

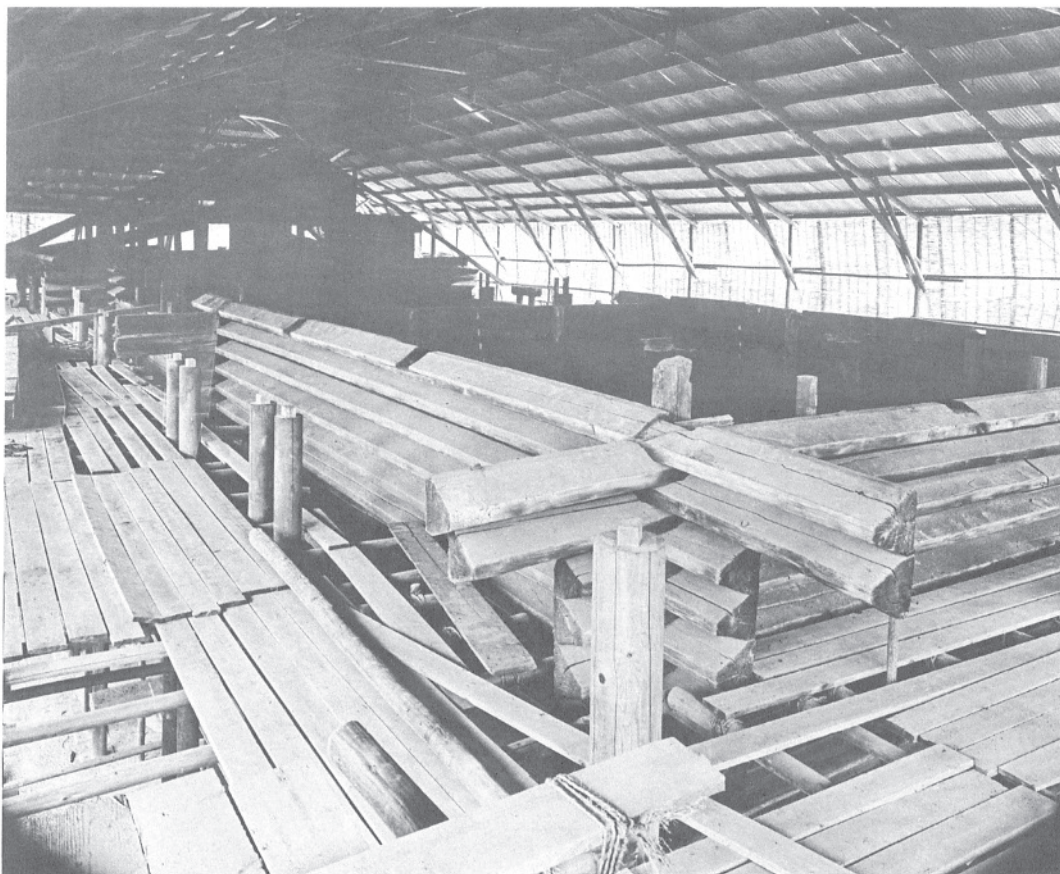


174 大正修理時の素屋根
「第二一号 宝庫東南隅ヨリ上家足代架設出来現況」。素屋根は丸太で組まれ、軒からは筵が下げられている。右側に登棧橋が設置されている様子も分かる。



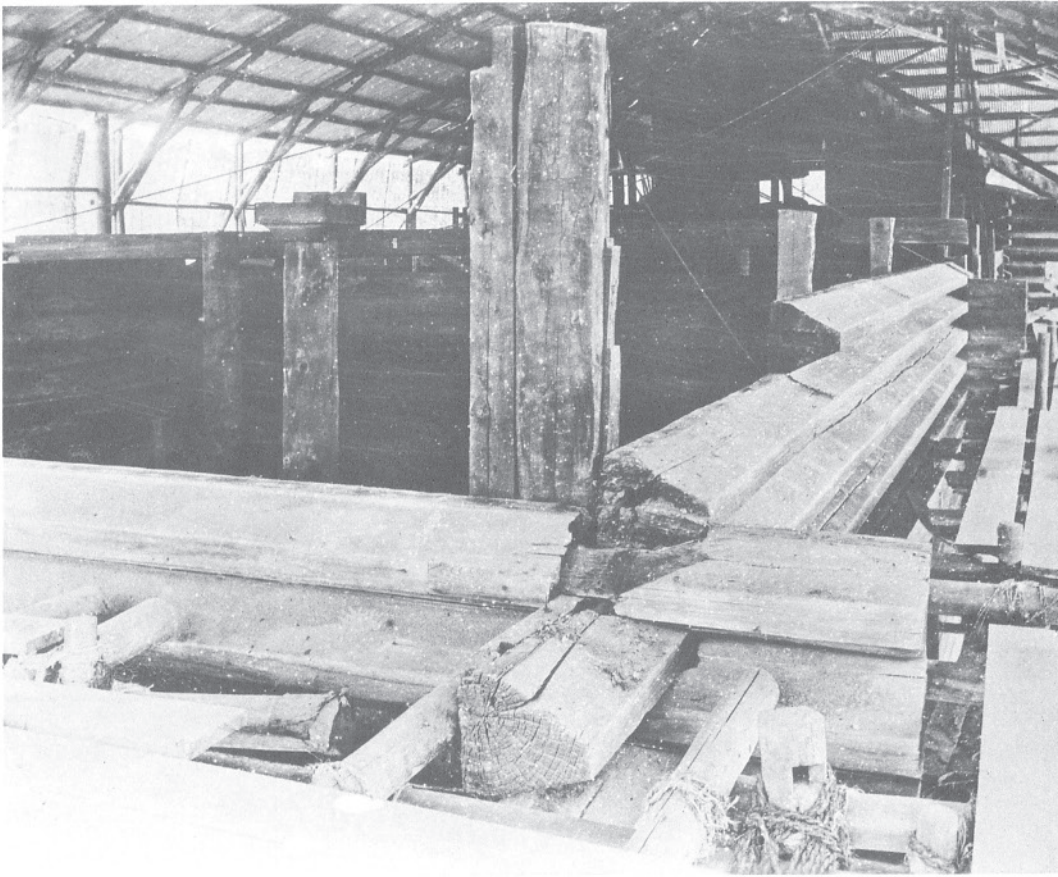
175 大正修理時の小屋組解体状況

「第二二号 宝庫東北隅ヨリ北倉隅木小屋廻ヲ見タル現況」。大正修理までの小屋組は和小屋で、天平期当初の状態が残されており、母屋や棟木の小屋東位置に肘木が入る様子がよくわかる。



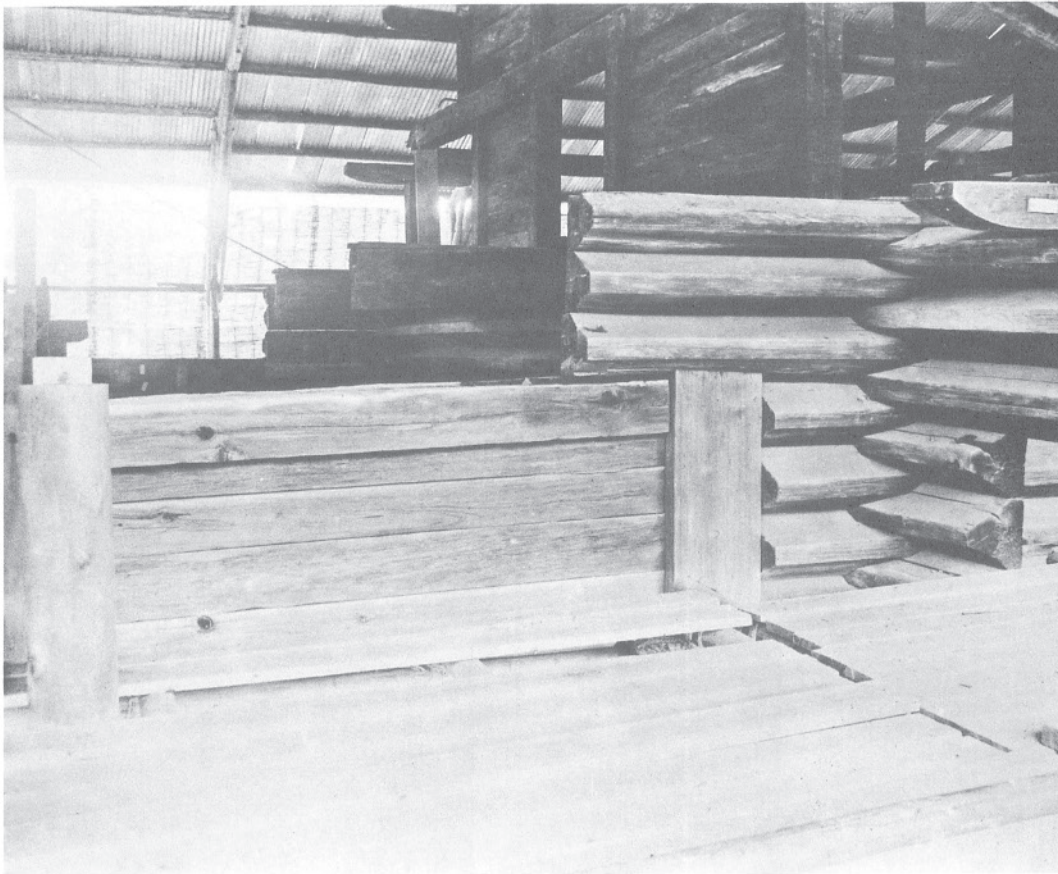
176 大正修理における南倉校木の解体

「第二三号 宝庫南倉南西隅ヨリ南倉中倉校木取解北倉小屋取解現況」。最上段の校木が解体されたところ。隅の校木の仕口が見え、大梁・妻梁との仕口や軒支柱の柄の様子もわかる。



177 大正修理解体中の南倉校木隅詳細

「第二四号 宝庫南倉東南隅ヨリ校木組手腐朽箇所ヲ見タル現況」。南倉東南隅の校木仕口の破損状況。大正修理前の隅内側に入っていた柱の状況も見ることができる。



178 大正修理解体中の中倉・北倉境の様子

「第二五号 宝庫中倉ヨリ北倉ノ南方校木組手中倉羽目板斜面現況」。中倉・北倉間の小屋組内に設けられていた間仕切壁の状況が分かる。板壁のようで、中央の開放部は戸口が設けられていたのだろうか。